

高速図面閲覧ツール『LCC-Zhu-Viewer』

取扱説明書（v1.1）

発行元： 株式会社エルシーシー

公式HP： <http://www.lcc-japan.co.jp/>

1. 概要

本ソフトウェア「LCC-Zhu-Viewer」は、製造、建築、設計業務における大量の図面ファイルを高速に閲覧・確認するために開発された専用ビューアツールです。大容量のTIFF図面や、複数ページのPDF、各種画像形式に対応し、ストレスのない瞬時の切り替え表示を実現しています。

■ 主な機能：

- ・マルチフォーマット対応：PDF、TIFF、JPEG、PNG、BMP、GIF、WebP等の自動認識・描画。
- ・高度な画像操作：90度回転、180度回転、左右反転、上下反転機能。
- ・高速スライドショー：ミリ秒単位で調整可能な自動ファイルめくり機能。
- ・レジューム機能（状態記憶）：前回終了時のフォルダー位置、ファイル位置、回転状態を自動で保存・復元。

2. 動作環境

- ・対応OS：Windows 10 / Windows 11（64bit必須）
- ・必要ランタイム：なし（単体で動作する実行ファイルです。インストール作業は不要です）

※

初回起動時にWindowsの警告が表示される場合があります。「詳細情報」→「実行」を選択してください。

3. 各部名称と機能説明

- ① フォルダ選択エリア：閲覧対象のフォルダーのパスを表示します。「参照…」ボタンから対象を選択し、「画像リスト生成」ボタンを押すことでスキャンが開始されます。
- ② 画像回転・反転エリア：左右の90度回転、180度回転、およびミラー反転（左右・上下）をワンクリックで行えます。「回転リセット」で初期状態に戻ります。
- ③ 再生コントロールエリア：手動での前後切り替えのほか、「Play(順再生)」「Rev(逆再生)」「Pause(一時停止)」「Stop(停止)」を備えています。loopモードではフォルダ内を周回再生します。
- ④ 表示速度調整エリア：自動再生時の1枚あたりの停留時間を10ms～2000msの間で調整し、適用します。
- ⑤ キャンバス：中央の領域に図面がウィンドウサイズに追従してアスペクト比を維持したまま最適化表示されます。

4. 基本操作手順

1. 起動後、画面上部の「参照…」ボタンをクリックし、図面フォルダーを選択します。
2. 「画像リスト生成」ボタンをクリックすると、フォルダー内の図面がスキャンされ、1枚目が表示されます。
3. 「Play」ボタンを押すと自動めくりが開始され、キャンバスの左クリックまたはSpaceキーでいつでも一時停止できます。

■ ショートカットキー一覧

キー	割り当て機能
→ (右矢印)	次のファイルを表示
← (左矢印)	前のファイルを表示
Space (スペース)	自動再生の 開始 / 一時停止 の切り替え
↑ (上矢印)	表示間隔を短くする (再生速度を上げる)
↓ (下矢印)	表示間隔を長くする (再生速度を下げる)

5. トラブルシューティング (Q&A)

- Q1. フォルダーを選択したのに図面が表示されない。**
- A1. 対象フォルダ内に、対応拡張子 (.pdf, .tiff, .tif, .jpg, .png 等) のファイルが実際に存在するか確認してください。
- Q2. 再起動時に前回のフォルダーが勝手に開く。**
- A2. 仕様です。本ツールには状態記憶機能があり、終了時の位置や回転状態を自動復元します。別フォルダを見る場合は再度「参照…」から選択してください。
- Q3. 一部のPDFで「読み込み失敗」と出る。**
- A3. パスワード保護や暗号化がされているPDF、またはファイルが破損している場合はセキュリティ上スキップされます。
- Q4. 起動しようとするするとWindowsの警告が出る。**
- A4. 初回起動時にWindowsの警告が表示される場合があります。「詳細情報」→「実行」を選択してください。